

1. オリエンテーション(市からの情報提供)

- ・第5回会議のテーマ「提言書(案)」に関する情報提供を行いました。

2. 検討会議

① 前提条件

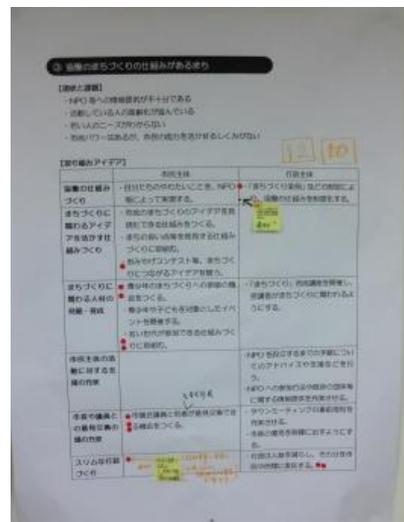
- ・これまでの市民検討会議で皆様からいただきました意見を、「市民主体」「行政主体」の取り組みアイデアとしてとりまとめ、提言書(案)を作成しました。

② 意見交換

- ・提言書(案)の内容について、修正意見をいただきました。また、重要だと思う項目に、シール投票を行いました。
- ・修正された提言書(案)は、後日、市長への提言書として石川委員長、奈良副委員長より渡辺市長に提出されます。



提言書の内容の説明風景



提言書(案)に書き込まれた意見

### ③ 検討結果

・検討した結果、以下のような主な意見・提案がありました。

	市民主体	行政主体
テーマ1 活気と活力のあるまちをつくるために	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者から、賑やかだった頃（幸手宿の頃）の貴重な話を聞くことができるミニ資料館を設置する。</li><li>・幸手市の名物として、市外の一般市民の手形を取り、市内にその手形を飾っておくことで、市外の方が何度も幸手にきてもらえるまちづくりを行う。</li><li>・コミュニティビジネスなどの起業や経営の課題をテーマにして、トークカフェを開催する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・障がい者が就労できるスペースを確保する。</li></ul>
テーマ2 安全・安心なまちをつくるために	<ul style="list-style-type: none"><li>・公設民営の自由に利用しやすいバスを運行する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会館掲示板等に、交通安全・防災・防犯情報を適宜出していく。</li><li>・災害時に、帰宅困難者が出たときの対応を迅速に行う体制づくりを構築する。</li></ul>
テーマ3 みんなでまちをつくるために	<ul style="list-style-type: none"><li>・民間のホームページなどを活用して、もっと市長を含む、責任ある立場の人が情報提供をする場を設ける。</li><li>・民間・NPOが市と協働できる事業を増やす。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市のホームページを活用し、年間の協働に関する予定を市民にお知らせ（情報提供）して、参加してもらいやすくする。</li><li>・「まちづくり推進支援担当」を新たに設置する。</li></ul>